

第3回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第3回安曇野市環境審議会
2	日時	平成30年11月6日(火) 午前10時00分から午前11時31分まで
3	会場	本庁舎 大会議室 西
4	出席者	環境審議会 浅川行雄 会長、植松晃岳 副会長、佐々木俊之 委員 樋口嘉一 委員、藤澤昇 委員、望月静美 委員、横田耕太郎 委員 口村孝 委員、二條久男 委員、酒井文雄 委員、北野聡 委員 森重昭孝 委員、江澤二郎 委員、降旗幸子 委員、飯沼千賀子 委員 井上和行 委員、小池晃 委員、堀井三郎 委員
5	市側出席者	安曇野市 市民生活部 宮澤部長、白澤参事兼廃棄物対策課長 廃棄物対策課 廃棄物対策担当 二木課長補佐、関係長 環境課 久保田課長、環境保全担当 百瀬係長、環境政策係 藤森係長 土屋主査、平沢主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1名
8	会議概要作成年月日	平成30年11月14日

協 議 事 項 等

【進行表】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 報告事項
  - (1) 穂高広域施設組合 新ごみ処理施設整備・運営事業に係る環境影響評価について
  - (2) 環境基本計画 平成30年度年次報告(中間)について
  - (3) 安曇野環境フェア2018について
4. その他
5. 閉会

【議事】

報告事項(1) 穂高広域施設組合 新ごみ処理施設整備・運営事業に係る環境影響評価について  
 <穂高広域施設組合事務局から説明>  
 <質疑>  
 (委員) この1年、様々な災害、天変地異があった。地震・土砂崩れなど、通常システムで想定していない事態が発生した場合、事業者としてどう対応されるか伺いたい。  
 (事務局) 三川合流部に位置するため、水のことを考え、重要機器は3階以上に配置する仕様とした。土砂災害については、勉強不足のためお答えできない。  
 (委員) 北海道では全域が停電した。悪臭や有害物質の発生を抑えるためには、電気が正常に使えることが前提だと思う。電気・水・排水が止まった場合にどう対処するのか。  
 (事務局) 安全にごみを燃やし、安全に止めることが第一。炉を立ち下げるにも電気が必要。災害時に安全に止められるか業者と議論し、すぐに止められるようにするとの回答を得ている。

(委員) 災害時の指揮系統といった危機管理的な要素が環境アセスには欠けていると感じる。  
(事務局) 業務継続計画を策定する方向で検討している。そうした中にご意見を反映していく。  
(委員) 危機管理に関しては、リスクコミュニケーションという手法を活用して進めていただきたい。  
(委員) 煙突の高さはどの程度か。  
(事務局) 現有、新設、どちらも59メートルです。  
(委員) わさび田などの観光ルートに隣接するため、現有・新設施設が併存する状態は景観上好ましくない。ダイオキシン類が機器に付着しており、難しく、費用も相当にかかる工事となると思うが、現有施設を解体する計画も進めていただきたい。  
(事務局) 解体は当然必要になるものと理解している。解体には補助金の交付はなく、単費の投入となる。跡地利用も含めて検討を進める必要があると認識している。  
(会長) カタツムリの貴重さの度合いは。また、大きさはどの程度か。  
(事務局) コウフオカモノアラガイは、県内では初確認。大きさは10ミリメートルに満たない。  
(委員) 移殖を行うとあるが、カタメマイマイとの競合等で定着しない心配はないか。  
(事務局) 生態が判明しておらず、競合の可能性は否定できない。生息地を自然緑地としてそのままの形で残すことが決定したため、無理をしてまで移殖する必要はないのではないかと、検討を進めている。一方、生態を把握すべく、今後もしっかりと調査を進めていく。

#### 報告事項(2) 環境基本計画 平成30年度年次報告(中間)について

<環境課から説明>

<質疑>

(委員) 重点取り組みNo. 1に記載のある“ちょうちょう観察会”について、“ちょうちょう”、“ちょうちょ”のどちらが正式か。報告書には正確に記載する必要がある。

(環境課) 安曇野オオルリシジミ保護対策会議の主催事業のため、改めて名称を確認する。

(委員) 重点取り組みNo. 3の記載が杜撰である。例えば目標②の記載内容には、日本語としておかしい箇所、主語と目的語が明確でない箇所、具体性にかける箇所が存在する。公の文書は、会議に何度も出席している私以外の一般市民でも読み取れるように記述すべきである。

(環境課) 期末の報告時には、詳細を記載し、分かりやすい文書を心掛けたい。

(委員) 例としてあげた目標②以外の箇所もちゃんと見直すように。

(会長) 重点取り組みNo. 5の、アメシロ、アレチウリの駆除等に係る記載について、環境部の負担とは、人数的に手が回らないといった意味か。そうであるならば、改善案は。

(廃棄物対策課) 区域の大小、人数の多少など様々ですが、役員には無償で対応いただいている。個人宅は個人で対応していただきたいが、できない箇所もあり、役員の負担となっている。具体的な対策としては、個人はシルバー人材センターに委託するよう誘導していきたい。

(委員) No. 5は、広報での分別啓発に関する項目のため、アメシロ等の記載箇所として相応しくないのではないか。

(環境課) 記載内容を精査し、担当課と打合せの上、必要な修正を行います。

(委員) 重点取り組みNo. 8の、「学ぶ・体験する」の項目について、“エコアクション21で対応する”といった記述にした方がよいのではないか。

(環境課) No. 8は、地球温暖化防止実行計画に基づく市役所内部での取り組みであり、対外的な学習機会の提供はないため、対象外としている。

(委員) 同じくNo. 8、目標②の課題に、現実的でない目標値を改定したとの記述があるが、元の設定値に問題があったということか。また、改めて設定した目標値が適正であるかを具体的にどう評価していくのか。

(環境課) 基準年を平成27年度としたが、エコアクション21の取り組み開始は11月、本庁舎の開庁は5月とずれがあり、推定で目標値を設定した経過がある。平成28、29年度と運用した中でこの課題が明らかになったこと、前年度比1パーセント削減を目標とする地球温暖化防止実行計画との整合を考慮し、エコアクション21でも同値を目標として運営するよう改善したい。また、市民が利用する施設は稼働率の影響を受けるため、原単位による目標の設定ができればよかったが、今後は本庁舎、公用、市民が広く使うものという3つの括りのなかで目標達成をはかれるように改善したいと考えている。

(委員) 達成できないから目標を緩くするのであれば問題ない。ただし、“現状を捉えた上で目標を定め、更なる削減を目指す”といった記述の方が分かりやすいので検討をお願いする。

(会長) 重点取り組みNo. 10に、ヒートポンプ式高効率エアコンを採用したとの記述がありますが、具体的にどの程度効果があったのか。

(環境課) 平成31年度に施工予定で、現在は設計が終了した段階です。旧式との詳細な性能差を把握してないため、後日確認して報告します。

(委員) 重点取り組みNo. 12の太陽光発電関連について、いずれは蓄電システムの導入を考えざるおえない時代になると思いますので、補助金の交付対象とすることを検討いただきたい。

(環境課) 売電価格の下落もあり、今後重要になるものと考えますが、現状では性能、価格面で課題があるため、今後の検討課題としたい。

(委員) 重点取り組みNo. 13に関して、塩尻市の信州F-POWERのおかげで薪の需要が高いと思うが、将来的に値段が上がるなどして、しゃくなげの湯への納入や個人利用に影響は出ないか。

(環境課) 里山再生計画では市内での循環を主目的としており、当面は心配ないと思われるが、今後はそうした可能性も考えられる旨、担当課に伝えます。

(委員) 重点取り組みNo. 16の松枯れ対策について、目標②の空中散布は、松林全体の環境に影響を与える行為。効果と副作用を検証し、来年以降も行うのか検討すべきである。

(委員) 同じくNo. 16について、アカマツはチップ化しての利用や治山治水上の意義がある。近年はカーボンフリー且つ軽量高強度なセルロースナノファイバーの研究も進められており、そうした所での活用も含めて、モデル地区を設定するなどし、今後の対策を検討してほしい。

(委員) 松枯れについては、皆伐、更新伐による樹種転換が行われている。

(委員) チップ化等による利用、更新伐の成果などを住民に広報されるとよい。

(委員) 重点取り組みNo. 4、No. 17に関して、空家及び隣接農地の売買、有効活用の上で、農地法による下限面積の制限が支障となっている。今後の計画を立てる際は、池田町等の先進事例に倣い、農業委員会による特例導入を前向きに検討していただきたい。

(環境課) 現在、約1,300戸を対象に空家の実態調査を進めている。空家については、管理不全、利活用で担当課が分かれている状況のため、農地も含めた一本化を検討していきたい。

(委員) 重点取り組みNo. 21の鳥獣被害については、実際の対策が明確に読み取れない。また、

私の住む地域や職場付近では、住宅地、別荘、鳥獣保護区内で猟銃を使用している例があり、住民や公園利用者にとっては恐怖である。鳥獣被害を減らすことも大事だが、安全上の観点からもしっかりとしたルールづくりをお願いしたい。さらに、食の安全という観点では、鉛玉が撃ち込まれた田で栽培したコメを食べることになり問題がある。住民、食の安全など総合的に判断して今後のことを検討してはいかがか。

(環境課) 記載内容は、期末の報告時には具体的な記述としたい。また、安全が第一ですので、猟友会にはお話をさせていただく。

報告事項(3) 安曇野環境フェア2018について

<環境課から説明>

<質疑>

・特になし

(午前11時31分 議事終了 閉 会)

【今後の予定】

・ 1月 第4回環境審議会